

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	31_鳥取県
市区町村名	
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
31000鳥取県	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	・各高等学校の特色化・魅力化にかかり、地域と連携した特色ある教育活動の実施等を教員主動で行っているため、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。 ・令和6年度は県立高校教員の14%超が、月45時間・年間360時間以上の時間外勤務を行っており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	・地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域の連携・協働体制の強化・促進を図る。 ・統括的な地域学校協働活動推進員等を配置し、配置校における地域学校協働活動推進員を繋ぎ、各校における課題解決のために有効な地域学校協働活動等の横展開を図る。	・地域学校協働活動推進員の配置を拡充することにより、学校と地域学校協働本部との連携を強化し、教員主動型から協働型の地域学校協働活動への一層の改善を図る。 ・協働活動サポーター等の支援により、学校寮等における生徒支援、地域と連携した特色ある教育活動等を実施することで、教員の業務負担を軽減する。	地域学校協働活動推進員が学校と地域を機能的に繋ぎ、協働体制による地域学校協働活動を展開することで、教員の業務負担が軽減する。	月45時間・年間360時間以上の時間外勤務を行う教員の割合	15.7	%	13	15.1	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 左記本年度の実績値15.1%については、昨年度に比べ微減したものの、目標達成には至らなかった。実績値による成果は出なかったものの、各校から教職員の負担を減少しつつ地域と連携した各校の特色ある活動を実施することができたとの報告が挙がっている。取組としては、地元企業が開設するネットショップを活用した特色ある学びの実現や週休日等に生徒の自主学習の場を提供する「図書館解放プロジェクト」など、地域学校協働活動推進員が中心となり、効率的に特色ある地域学校協働活動を円滑に展開することができた。
31000鳥取県	②学校と地域の課題	04 高校・特別支援学校における地域連携の強化	県立特別支援学校における地域学校協働活動推進校を1校指定し地域と連携する活動に取組んでいる。しかし、全ての県立特別支援学校に浸透していない現状がある。また、教職員の意欲につながっているとは言えない。	地域学校協働活動推進校を2校指定する。2校の取組みを全ての県立特別支援学校に情報提供を図ることで、地域と協働することの良さを知る機会を設定する。また、好事例を教職員に伝えることで教職員の意欲につながるようにする。	地域学校協働活動推進校1校を指定し、その学校を対象にアンケートを行った。その結果、教職員への地域学校協働活動への理解が深まりつつある。	地域学校協働活動を実施することにより、地域と協働することへの教職員の意欲が向上する。	教職員の肯定的な回答の割合（活動前後のアンケート調査により測定）	49.6	%	60	68.8	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた ・学校運営協議会での協議や決定内容について、学校内での周知が大きく進み、地域と協働することへの意欲が向上している。 ・周知は進んでいるものの、まだ3割程度の教職員は学校運営協議会の内容をあまり知らないと回答しており、継続して取り組んでいく必要がある。